

1 会議名	第5回上田市歴史的風致維持向上協議会
2 日時	令和6年2月13日(火) 午後1時30分から午後3時10分まで
3 会場	上田市役所 2階 202・203 会議室
4 出席者 (順不同)	児玉会長、長島副会長、笠原委員、伊藤委員、小岩井委員、宮嶋委員、山崎委員、熊谷委員、土本委員、岡田委員代理(寺内貴美子氏)、中島委員代理(小林博幸氏)、小野沢委員、佐藤委員 オブザーバー：関東地方整備局計画管理課長 内堀隆太氏
5 市側出席者 (事務局、事業担当課)	上原生涯学習・文化財課長、生涯学習・文化財課 文化財保護担当係長・担当 矢島都市計画課長、都市計画課 公園緑化景観担当係長・担当 上田城跡整備室 室長補佐、櫓復元推進室 室長補佐、住宅政策課 課長補佐、 市民参加・協働推進課 課長補佐、観光シティプロモーション課 係長、 文化政策課 係長
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・一部公開・非公開
7 傍聴・報道	傍聴者、記者 なし
8 会議概要作成年月日	令和6年2月14日

## 協議事項等

## 1 開会

- ◎ 委員の変更・欠席委員、資料の確認(矢島都市計画課長)
  - ・ 人事異動による委員変更2名紹介
  - ・ 欠席委員2名
  - ・ オブザーバー紹介(関東地方整備局 建政部 計画管理課：内堀課長)

## 2 協議

- ◎ あいさつ(委員)
  - ・ 1年3か月ぶりの開催。昨年2月15日に国から計画認定を受けた。
  - ・ 本日は令和5年度の事業について皆様からご意見をいただく。
- ◎ 審議会の成立について(事務局)
  - ・ 委員15名中、出席者13名につき定足数を満たすことの報告

## (1) 令和5年度上田市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について

- ◎ 進行管理・評価制度を説明(事務局) \_ 資料1
  - ・ 進行管理・評価制度について説明。

○ 説明に対する意見、質疑等

なし

◎ 進行管理・評価シートを説明（事務局） \_ 資料2

- ・ 進行管理・評価シートの要点を説明。

◎ 説明に対する質疑応答

○ 資料2 4、16、17、19について

（委員）

- ・ 古い民家の取り壊しが進んでいる。空き家等所有者の意向調査をして、取り壊す意向の場合、記録に残していかなければならない。記録に残すタイムリミットが近づいている。財源確保の課題については、地元の専門的な知識を持つ方も動員し、市だけでなく地元にも投げかけて早く取り組んでほしい。
- ・ 登録有形文化財になっている佐藤家など、地元の方も中や意味を知らない気がするので、現地説明会をやってほしい。
- ・ 住民の自治組織の活動につながっていくような地域の学習会や景観ウォッチングみたいなものを絡めながら、歴史景観維持向上に有機的に高められていくことを願っている。

（関東地方整備局 オブザーバー）

- ・ 計画の中身を充実させて、計画期間中に歴史的風致の維持向上を確実に図れたとしっかり評価されることが大事。進捗管理し、必要に応じて修正や事業の追加を検討し、よりよい歴史まちづくりを目指してほしい。
- ・ また、歴史まちづくりの観点にとどまらず、この計画を使って、対外的に良い影響を及ぼしていくこともかなり重要。
- ・ 観光地来訪者数をコロナ前の水準まで迅速に戻す起爆剤の一つとして、歴史まちづくりの進捗、PRすることが大事。

（委員）

- ・ 残せないものは記録保存する体制を、最低限の対策を講じてほしい。

（事務局）

- ・ 家屋の取り壊しについて把握が難しい。埋蔵文化財包蔵地の届け出や空き家対策の届け出から情報提供いただくなど、庁内連携や地元の皆さんの力をおかりしながら、記録を残す体制をとっていききたい。

○ 資料2 12について

（委員）

- ・ 上田城から上田駅へ向かう観光客が多くなってきている。南部まちづくり協議会で、上田駅から大手町や末広町など街並みを通して上田城に観光ルートを作りたいと考えている。

（委員）

- ・ 昔の小路。信州上田ふるさと先人館の話も出てきたが、ルートには先人の屋敷もあり、案内看板の設置等により紹介できるようになる。今後協議を進めていっていただきたい。

（委員）

- ・ まちづくりと観光の関わりについて、くろつぼのあたり、昔の蔵のところにパン屋やカフェができて面白い場所になっている。そのような活用法をうまくひろげて繋げていけないか。古い民家

などあるものをうまく利用した観光ルート、遠くからの人たちの方がそういう情報持ってきている気がする。

○ 資料2 11, 20 について

(委員)

- ・ 空き家バンクの関係、問い合わせ件数に対して成約できなかった理由の分析をしたらどうか。
- ・ 観光地上田の誘客促進事業について、SNSとかメディアを使って広報はどのようにしているか。スマホを活用した観光事業は何か計画しているか。
- ・ しなの鉄道や新幹線を活用した観光客の増加施策は今後あるのか。

(事業担当課)

- ・ 所有者のご希望で金額を設定している。物件の価格が低いものに集中して問い合わせがくるため、問い合わせ件数が非常に多くなる。

(事業担当課)

- ・ シェアサイクルツアーについて、上田城の周辺から日本遺産の絡みで塩田平を周遊ということで、上田電鉄さんも利用させていただきながら試験的に行ったもの。おもてなし武将隊が直接ガイドするテーマにした。
- ・ 募集はおもてなし武将隊のSNS、ツイッター、インスタグラムに加えて信州上田観光協会のホームページ、ツイッターなどで行った。速報性の高いもので観光PRしている。
- ・ 敦賀までの北陸新幹線延伸については、さいたま市と合同のキャンペーンで、東日本連携という大きな枠組みで観光増加を考える会に属していて、首都圏からの誘客を強めていこうとしている。
- ・ 上田電鉄について、上田駅から利用後、その先はシェアサイクルで、ということでPRしている。

○ 資料2 20 について

(委員)

- ・ 大学では観光まちづくりを教育している。観光コースについて、上田の文化資源を観光にいかしきれていない、細かな資源をつないでいかななくてはいけないところかと思う。上田城下のまちづくり協議会が連携をしながら、観光コースを設定する必要がある。
- ・ 観光地・上田誘客促進事業について、少人数でもこういう取り組みをしっかりと行っていく。あまり目立たない資源も中身をガイドなどから説明していく必要がある。
- ・ 参加者は市外・市内どちらが多いのか。市内の方でも必ずしも文化資源を御存知ない方結構いらっしゃるのでは、市内向けのツアーもぜひやるとよい。

(事業担当課)

- ・ 参加者はほぼ県外。市民向けツアーがどこまで観光として、消費行動という視点からは検討あると思うが、いろんな資源を繋げて新しいものを作っていき、認知を深めていただくことで外からお客様をお呼びしやすくなる。ご意見頂戴して考えていきたい。

(委員)

- ・ りんどう橋の国の有形文化財登録に絡んで市民向けツアー予定されている。こういったツアーが今後もあるとよい。

## (2)上田市歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について

- ◎ 上田市歴史的風致維持向上計画の変更箇所について説明（事務局） \_ 資料3
  - ・ 組織改正に伴う名称変更、見直しによる事業名の変更など軽微な変更のため、国に届け出予定。
- 説明に対する意見、質疑等  
なし

## 3 その他

- ◎ 令和6年度上田市歴史的風致維持向上計画に係る事業について説明（矢島都市計画課長） \_ 資料4
  - ・ 令和6年度の事業計画について、関係予算等は上田市議会3月定例会でご審議いただくため、今後変更になる可能性がある。従って、個別の説明は省略する。
- 説明に対する意見、質疑等  
なし

## 4 閉会

- ◎ あいさつ（上原生涯学習・文化財課長）
  - ・ 長時間のご協議、多くのご意見に感謝申し上げます。
  - ・ 国の計画認定は、熱心にご議論いただいた賜物と考えている。今後、目的の達成に取り組みたい。
  - ・ 協議会の任期が2月末。引き続きご指導・ご助言をお願いしたい。委員各位の今後のご健勝を祈念申し上げます。ありがとうございました。